#### 第44回 河内長野市地域公共交通会議次第

日 時 令和2年1月28日(火)午後3時から 場 所 河内長野市役所802会議室

- 1. 開会
- 2. 議題
- (1) フリー乗降のその後について
- (2) 今年度の取り組みの状況報告について
- (3) 令和元年度(平成31年度)生活交通確保維持改善事業(フィーダー)に関する事業評価について
- (4) 近未来技術等社会実装事業について
- (5) イギリスの交通事情について
- (6) その他
- 3. 閉会

# フリー乗降のその後について(網形成計画基本方針20-8)

・ フリー乗降とは…停留所以外の安全が担保された場所で、バスの乗降ができる仕組みのこと。フリー乗降区間においては、降りるときは、 バスの運転手に申し出る等して任意の場所で停めてもらい、乗るときは、手を挙げる等して運転手に乗車の意志を示すことで乗車できる。

### 令和元年度 第1回河内長野市地域公共交通会議において

- ▶ 現状: ① 高齢化の進展に対応するため、荘園町は平成23年から、南青葉台は平成25年からフリー乗降を導入。 都市部におけるフリー乗降の導入は非常に珍しい取り組み。
  - ② フリー乗降区間内は利用者減少が鈍化しており、一定の効果があるといえる。
- ▶ 課題: 安全運行・定時運行には利用者や地域の理解・協力が欠かせないが、導入から数年が経ち、意識が薄れている。



利用者・地域・バス事業者の理解・協力があって成り立っている制度だからこそ、 課題があるのであれば三者で共有し、解決策を見つけていくことが重要。

## 南青葉台自治会との意見交換会を実施

- ・実施日・・・令和元年12月9日(月)・出席者・・・自治会役員7名、南海バス2名、市職員3名
- 利用者がルールを守れていないのであればフリー乗降をやめるべきだという 意見が自治会側の一部から再三出たが、<u>助かっている高齢者も多いので、</u> どうしたら今後もフリー乗降を継続していけるか考えようということになった。
- 地域住民に今いちど利用ルールの周知を図るため、自治会において地域住 民向けの資料作成と周知方法の検討を実施予定。

## 荘園町自治会との意見交換会を実施

- ・実施日・・・令和2年1月10日(金)・出席者・・・自治会長、南海バス2名、市職員2名
- 制度の趣旨に合わないフリー乗降の利用が定時運行・安全運行の妨げになっている。<u>利用ルールに加えて、高齢者や体の不自由な人のため、という</u>制度趣旨についても地域住民において再確認する必要がある。
- <u>自治会内において、利用ルールの周知徹底やフリー乗降の制度趣旨等に</u>ついて呼びかける文書の回覧を実施(令和2年1月)。





#### 南青葉台自治会での意見内容(詳細)

- 南青葉台は高齢化率が50%を超えており、車がないお年寄りは、買い物でコノミヤ北青葉台店まで行くのも苦労するので、フリー乗降があるおかげで非常に助かっている。フリー乗降を今後も続けていくため、できる限りのことをしたい。
- 周りの高齢者に対して、フリー降車を利用したい場合は、ひとつ前の停留所で停まった時に、前方の空いた座席に移動する等、工夫するように呼びかけている。地域全体に周知するにはどうしたらよいか考えなければならない。
- 「フリー乗降」と書いてあるから、皆どこでも乗り降りできるとものと思ってしまう。 ルールが守れない人が多いので、フリー乗降をやめたらいい。
- 地域の中にはフリー乗降のおかげで助かっている高齢者も多いので、やめるということではなく、どうしたら今後も継続していけるかを考えていくべき。

#### 荘園町自治会での意見内容(詳細)

- 脚の悪い人のフリー乗降に時間がかかりバスが遅れていた時に、運転手さんが事情を知らない小山田口で乗車した人から、遅延したことに対する苦情を受けていたことがある。
- 利用ルールの周知にあたっては、高齢者や体の不自由な人のため、というフリー乗降の趣旨や、小山田や赤峰の方に遅延の迷惑をかけないためのルール遵守についても補足する必要があるのではないか。
   (→自治会による補足文書を作成することに。)

## 取り組み結果と今後の方針

- 行政・地域・バス事業者の三者で課題を共有し、利用方法の周知 徹底の呼びかけを地域において実施する運びとなった。
- フリー乗降を継続していけるよう、今後も意見交換の場を設ける等で課題を共有し、新たな課題が生じれば、その都度、制度の見直しを図っていく。
- 課題を整理する中で、新たな地域でフリー乗降の導入を考える場合の最低限の条件や、導入手順等についても整備を図っていく。

2020年1月

荘園町にお住まいのみなさまへ

南海バス株式会社

フリー乗降の継続に向けたご協力(お願い)

平素より南海バスをご利用いただき誠にありがとうございます。当社バスでは荘 園橋〜荘園センター間(以下、「フリー乗降区間」という。)においてフリー乗降を 導入させて頂いております。

今後もフリー乗降を継続するために、以下の内容に関しましてあらためてご理解 を賜りますようお願い申し上げます。

- 1. フリー乗降区間でバスをご利用の方へ
  - (1) フリー乗降区間内でお客さまが乗降できない場所
  - ・交差点付近、カーブ、凍結箇所、坂道、その他乗務員が危険と判断した場所
  - (2) フリー乗降区間におけるバスの乗り方
  - ・バス走行車線側の歩道等で、バスにはっきりと手を挙げて合図を願います。
  - ・近くにバスをお待ちの方がいる場合は、まとまってご乗車願います。
  - ・バス停が近くにある場合は、バス停をご利用願います。
  - (3) フリー乗降区間におけるバスの降り方
  - バス停以外で降車される場合、お早めに「降りる場所」(例:「次の角で」)を乗務員に、走行中は席を立たずにお伝え願います。また、乗務員が聞き取れない場合もありますので、はっきりと「降りる場所」をお伝え頂くと円滑な対応が可能となります。
  - ・降車ボタンを押しても、他のお客さま乗降の為にドアを開けると、システム上、 「降車合図」が消えるため、再度、**陸車ボタンの押下**を願います。
  - ・降車してすぐにバス車両の前後を横切ることは安全上、お控え願います。
- 2. フリー乗降区間内でマイカー・バイクを運転される方へ
  - ・バスは停留所以外に停車いたしますので、車間距離を十分にとって 追突事故防止にご協力願います。
  - ・停車中のバスの影から歩行者・自転車等が飛び出してくる可能性がありますので、バスを追い越す場合、徐行で進行願います。
  - ・路上駐車等の迷惑駐車はフリー乗降区間で安全にご利用いただくための支障となりますのでお控え願います。

以上

- フリー乗降制度は平成23年に導入されたが、当初の目的から少し逸脱し、 利用ルールも遵守されていない状況。安全運行を妨げダイヤを乱す原因 にもなっている。
- ・ 特に通勤時間帯は、バス停が近くにある場合はバス停を利用いただきたい。

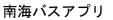
(上図:南海バス作成の荘園町への周知文書 下図:荘園町自治会による補足内容)

## 今年度の取り組み①(網形成計画基本方針②-⑤・⑧)

## 高齢者スマートフォンセミナー

開催日	令和元年8月22日、29日(二部制)
対 象	市内在住の60歳以上の方
内容	<ul> <li>はじめてスマートフォンを持った方や、これから持とうか迷っている方を対象としたスマートフォンセミナーを、NTTドコモ協力の元、市高齢福祉課と連携して開催。</li> <li>入門編と応用編の二部制。入門編では、電源の入れ方や電話、メール、カメラの操作方法やインターネットでの検索方法などを紹介。</li> <li>応用編では、LINEやGoogleマップなどのアプリのダウンロード方法や操作方法などを紹介。</li> <li>応用編の中で、電車・バスの乗換案内アプリや南海バスアプリを紹介。電車・バスの乗換の検索方法やバスの接近状況がわかる「バスロケーションシステム」の利用方法などを実演で紹介。</li> </ul>









- 教室後、自身のスマホに南海バスアプリを ダウンロードされる方もおられた。
- 新たな需要喚起につながる取組みであり、 来年度も継続的に実施できるよう関係者と 連携し検討していく。

# 今年度の取り組み②(網形成計画基本方針〇-②・⑭)

## 広報紙10月号(公共交通特集)

# 近畿市町村広報紙コンクールで「優秀賞」を受賞!!

- 公共交通特集「将来の公共交通を考える」が掲載された「広報かわちながの10月号」が<u>第32回近畿市町村</u> 広報紙コンクール(毎日新聞社ほか主催)の優秀賞を受賞しました!
- 審査員からは<u>「公共交通の前文はきちんと趣旨を書いていて良い」「昭和53年を起点としたグラフは説得力がある」「これまでの取組みからインタビューへの展開が良く、3人のインタビューは参考になる」</u>などの評価を受けました。









# 今年度の取り組み③(網形成計画基本方針〇-⑬)

## モックルコミュニティバス乗車マナー啓発アナウンス(10/1~)

- 利用者のマナー向上や事故防止を図るとともに、次世代を担う子ども達にバスを身近に感じてもらい愛着 を醸成することで今後の利用促進につなげていくことを目的として、昨年度から始めた取組み。
- 利用者の反応も良く継続的に取り組んでほしいという声もあったことから、今年度も実施。
- アナウンス収録に協力していただける小学生(1~4年生・5名)を新たに募集。<u>アナウンス内容もより</u> 丁寧で分かりやすい内容に見直した。

☆参加した小学生たちの声☆ 「アナウンサーになったみたいで、夏休みのいい経験になりました!」











☆バス車内に掲示しているポスター

☆収録風景

# 今年度の取り組み④(網形成計画基本方針❸-⑬・⑮)

## 【予定】バス乗り方教室(天野小学校)

国庫補助(地域間幹線、フィーダー)対象路線である「天野山線」沿線の小学校で出前講座及びバス営業所への社会 概 見学を実施。公共交通を取り巻く様々な問題や移動手段としてのバスの重要性や楽しさについて、実際のバス車両を 要 見て、乗って、触れて、感じることができる体験型の教室を開催。

目 次世代を担う子ども達に、バスへの関心や理解を深めてもらい愛着の醸成を図ることで今後の利用促進につなげる。 的

対 象 天野小学校3年生

実施日 【第1部】出前講座:令和2年2月10日(月)

(予定) 【第2部】社会見学:令和2年2月18日(火)



### 行 程(案)

【第1部】2/10

☆出前講座で公共交通の大切さや バスの乗り方について勉強!



#### 【第2部】2/18

移動!

☆ふるさと歴史学習館で市の歴史を 勉強し、昔の暮らしを体験!



☆河内長野営業所でバスに乗ったまま 洗車体験や整備工場を見学!



15%

11月

14%

10月

13%

9月

12%

8月

12%

7月

9%

6月

# 今年度の取り組み⑤(網形成計画基本方針②-⑤・⑦)

## おでかけチケット利用実績(令和元年度4~11月)

10%

0%

4月

5月

●バスで利用

利用率 : 約15% (3,011人/19,441人)

利用枚数:28,900枚(約15%)

●タクシーで利用

利用率 : 約25% (4,901人/19,441人)

利用枚数:32,613枚※(約17%)

●バス+タクシー(合計)

利用率 : 約40% (7,709人/19,441人)

利用枚数:61,513枚(約32%)

※バス・タクシー両方利用: 203名あり

●まちなかクーポン 利用人数:1,719人

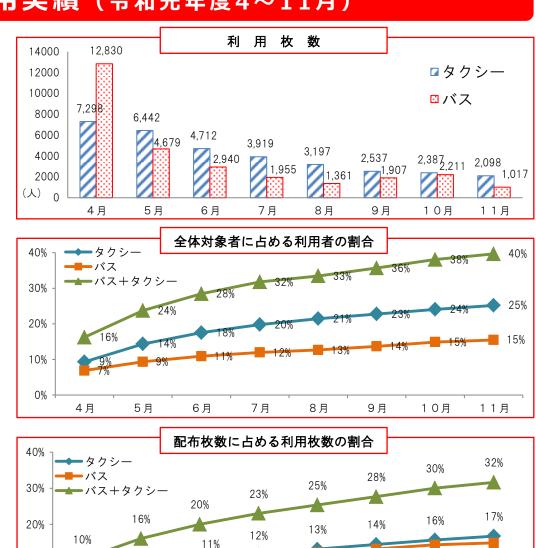
利用枚数:6,719枚

#### 【参考】

●H30年度タクシー (H30.10~H31.3)

利用率 : 約28% (5,086人/18,314人)

利用枚数:33,835枚(約18%)



# 今年度の取り組み⑤(網形成計画基本方針②-⑤・⑦)

## 南海バス専用ICカード「なつち」販売・チャージ実績(令和元年度4~11月)

#### 臨時窓口(10月)

おでかけチケットで「なっち」の新規購入やチャージができる臨時窓口を4月に引き続き10月も開催。

•10月19日:市役所

・10月20日: フォレスト三日市



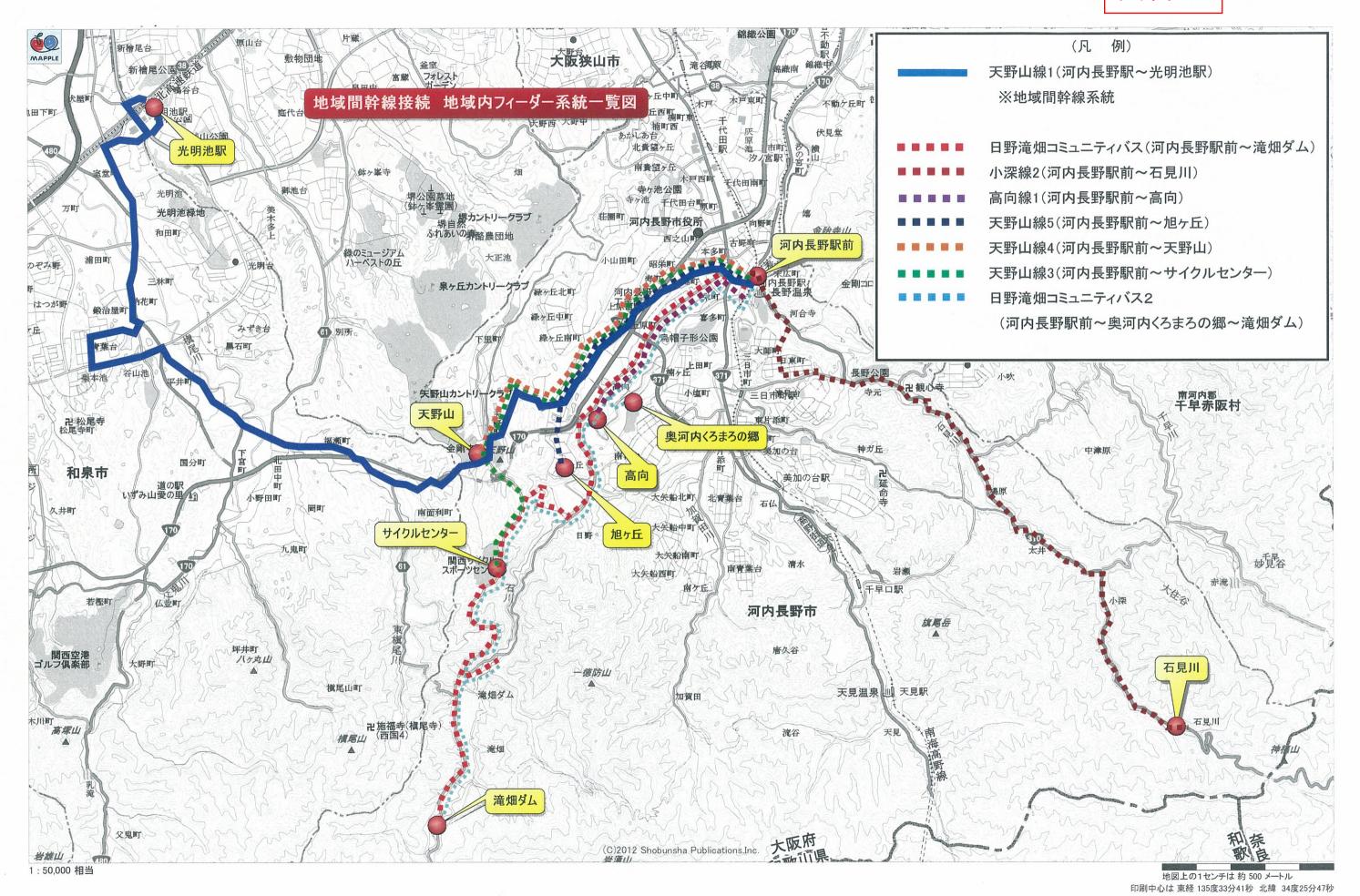
### なっち新規販売

対前年同月比 (R元/H30)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	4~11月計
	288%	245%	159%	222%	142%	236%	145%	130%	203%

## なっちチャージ

対前年同月比 (R元/H30)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	4~11月計
	154%	142%	116%	116%	115%	134%	105%	107%	123%

# 資料3



## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)



令和2年1月 日

協議会名:河内長野市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標·効果達成状況		⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)		
南海バス株式会社	ロ野・尾畑コミユーノイバス	【前回評価結果】 ●事業の適切性については評価できる。今後も、効果的な利用促進、運行内容の見直し等		事業が計画に位置づけられた	増	引:輸送人員増減(対前年度比)加(+1%) 持・減少幅抑制(△5%以内)			
南海バス株式会社	(奥河内くろまろの郷経由系統)	進められたい。 ●広域からの集客も考慮した 周遊観光の情報発信等、関係 者で連携し、需要の掘り起こし を進められたい。 ●バスロケーションシステム者前 のICT活用について、流動抵抗 の払拭等に の払拭等に の払拭等に の以ばからの集客を表慮し、、 は反映状況 ⇒広ばの回数を積極した増し、、 設定がある。また、 の場接市と連携し、 の場に がはいる。また、 の場に がは、 の場に がはいたの がは、 ではいた。また、 のは、 ではいた。また、 のは、 ではいた。また、 のは、 ではいた。また、 ではいた。また、 のは、 ではいた。また、 のは、 ではいた。また、 のは、 ではいた。また、 のは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	A	とおり、適切に実施された。	^	目標達成 【輸送人員】 目標:增加 結果:増加(対前年度比101.1%)	観光需要の掘り起こしについては、今年度、文化庁の日本遺産の認定を受け、観光部局では「中世に出逢えるまち~千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫~」をテーマに市外から来訪者の誘致に力を入れていることから、需要に対応で		
南海バス株式会社	路線ハス小涂線2(石見川糸統)		Α	事業が計画に位置づけられた とおり、適切に実施された。	Α	目標達成 【輸送人員】 目標:維持若しくは減少幅抑制 結果:増加(対前年度比103.0%)			
南海バス株式会社	路線バス高向線1(高向起終点 系統)		⇒広域からの集客を考慮し、市公式facebookを活用した情報 発信の回数を積極的に増や、ホの回数を積極的に増や、ホの回数を積極的に増し、ホの場所を連携し、ホの観光をでは、ないでも掲載する等、需要の掘りでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	か広域からの集客を考慮し、市 公式facebookを活用した情報 経信の回数を積極的に増やし こ。また、隣接市と連携し、ホー 、ページに他市の観光施設の 紹介も掲載する等、需要の掘り ここしに努めた。	Α	事業が計画に位置づけられた とおり、適切に実施された。	Α	目標達成 【輸送人員】 目標:維持若しくは減少幅抑制 結果:抑制(対前年度比99.9%)	きる公共交通網の確保や、観光との連携による公共交通の活性化を図る。
					Α	事業が計画に位置づけられた とおり、適切に実施された。	Α	目標達成 【輸送人員】 目標:維持若しくは減少幅抑制 結果:増加(対前年度比103.3%)	スマホ教室等の啓発活動は定員の関係で1度に多くの人に発信することが難しいため、市のイベント等様々な機会を活用してでなるがはなくのした関係
	路線バス天野山線4(天野山起 終点系統)			Α	事業が計画に位置づけられた とおり、適切に実施された。	Α	目標達成 【輸送人員】 目標:維持若しくは減少幅抑制 結果:増加(対前年度比104.7%)	て、できるだけ多くの人に周知 していく機会を検討する。	
南海バス株式会社				に努めた。	Α	事業が計画に位置づけられた とおり、適切に実施された。	Α	目標達成 【輸送人員】 目標:維持若しくは減少幅抑制 結果:増加(対前年度比106.9%)	

別添1-2

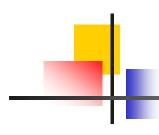
### 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和2年1月 日

協議会名:	河内長野市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	河内長野市は大阪府の南東端に位置し、人口約10万5千人、面積は109.63km と府内で3番目に広い。市域の約7割を森林が占め緑豊かな環境である一方、住宅団地が点在するため公共交通は市民生活を支える大切な交通手段である。 しかしながら、人口減少や少子高齢化、ライフスタイルの変化などの要因により、路線バスやコミュニティバス等の公共交通利用者が年々減少を続けており、持続可能な公共交通を確保することが極めて厳しい状況にある。そのため、住民、交通事業者、行政などの関係者による協働の取り組みを進め、市内を運行する路線バスやコミュニティバス等の公共交通の維持・充実を図る必要がある。

#### 報道提供資料

令和元年11月29日 河内長野市



### 河内長野市南花台地区を走行する南花台モビリティ 「クルクル」の出発式開催について

~AI を活用したオンデマンド運行システムを利用し、時速 10 k mの低速モビリティによる移動支援を予約受付から運転まで地域住民が主体で運営します~

河内長野市では、大阪府と共同で、「咲っく南花台プロジェクト」の一環として、河内長野市南花台地区における未来技術を活用した新たなモビリティサービスの社会実装に向けた取組みを、国、大学、民間事業者、地域住民等と一体となって進めています。

このたび、12月9日(月)から、グリーンスローモビリティ(※)である南花台モビリティ「クルクル」のAIを活用したオンデマンド運行の実証スタートに先立ち、12月7日(土)に下記のとおり出発式を行いますので、お知らせします。

(※) 時速20km未満で公道走行可能な4人乗り以上の電動自動車を使用。 南花台モビリティ「クルクル」は時速10kmを標準速度として走行します。

#### ■出発式

- 1 日時 令和元年12月7日(土)午後2時から午後4時
- 2 場所 コノミヤ南花台店(河内長野市南花台3丁目6番10号) 1階ヤード
- 3 内容 【第1部】 事業内容説明会(午後2時から午後3時)
  - ·全体事業概要説明(河内長野市)
  - 地域運営体制説明(河内長野市社会福祉協議会)
  - ・予約システム説明 (NTT ドコモ)
  - ·環境配慮説明(関西電力)

【第2部】 出発式 式典(午後3時から午後4時)

- ·開会挨拶(河内長野市長 島田智明)
- 挨拶(南花台自治協議会会長、河内長野市社会福祉協議会会長)
- 祝辞(環境省、內閣府、河内長野市議会議長、大阪府議会議員)
- ・テープカット
- 関係者試乗
- · 閉会挨拶(大阪府)

なお、式典終了後、午後5時まで、一般参加者を対象に運行システム登録会を実施します。

#### ■事業概要

本事業は、環境省が実施する「IoT 技術等を活用したグリーンスローモビリティの効果的導入実証事業」の採択を受け、大阪府と河内長野市、河内長野市社会福祉協議会、南花台自治協議会、関西大学、株式会社コノミヤ、株式会社 NTT ドコモ、関西電力株式会社が連携し、実施するものです。

地域住民主体の運営体制を構築し、南花台モビリティ「クルクル」の運転や予約受付等を地域住民が自ら行うことにより、持続可能な取組みを目指しています。

1 車両名称 南花台モビリティ「クルクル」

2 コンセプト 「のりあい」から、「ふれあい」へ。

3 使用車両 ヤマハ製7人乗り電動ゴルフカート2台

(グリーンスローモビリティ)

4 運行システム NTT ドコモ「AI 運行バス」(オンデマンド運行システム)

5 運行期間 令和元年12月9日~令和2年3月31日

(当面は週2日~3日の運行)

6 乗降ポイント 南花台地区内の電柱等342筒所

7 運行拠点 コノミヤ南花台店1階防犯ステーション内

#### 【使用車両】南花台モビリティ「クルクル」



